

# 1. 国立諫早青少年自然の家とは

## (1) 諫早自然の家の沿革

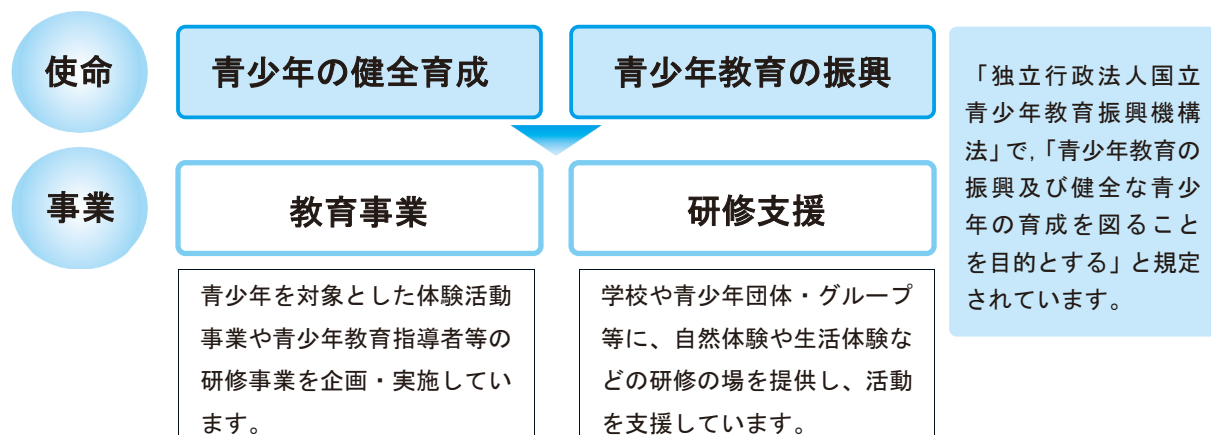
○昭和 52 年（1977） 国立少年自然の家では、全国で 3 番目、九州では最初に設立。

公立少年自然の家は、子どもたちの自然体験が不足していることが問題となった昭和 40 年代中頃に、全国各地に設立されました。また、国立少年自然の家は、学制百年（1872 年・明治 5 年）を記念して設立されました（現在は、全国に 14 施設）。

○平成 13 年（2001） 独立行政法人国立少年自然の家 国立諫早少年自然の家

○平成 18 年（2006） 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立諫早青少年自然の家

## (2) 諫早自然の家の使命と事業



## (3) 諫早自然の家が大事にすること

### ① 所章に込めた思い

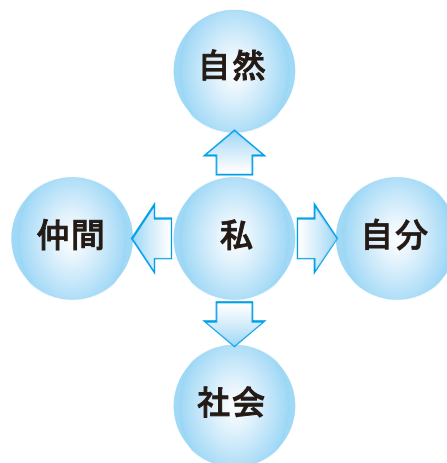
山は豊かな自然に恵まれた多良山系を、小鳥はそこに集う少年少女たちを象徴しています。

山には少年少女たちの希望や理想がより高くあることを、小鳥には少年少女たちの心がやさしく、未来に向かって飛躍して欲しいという願いが込められています。



### ② 諫早自然の家が育てること

- ・ 自然に触れ  
自然への畏敬の念をはぐくみ、環境保全の意欲や態度を培います。
- ・ 仲間と交わり  
協力することの大切さを実感し、望ましい人間関係を築く力をはぐくみます。
- ・ 社会を学び  
共同生活を通じて、ルールやマナーを守る精神など社会性をはぐくみます。
- ・ 自分自身を見つめ  
「自分はどうか生きるか」を考える力をはぐくみます。



### ③ 諫早自然の家が利用者の皆様に約束すること

- ・ 安心・安全で、清潔な研修・生活環境の整備
- ・ 正確・迅速・柔軟・親切（笑顔）な対応
- ・ 研修目的達成のための全力サポート（プログラム相談と直接指導）

## (4) 利用者の皆様に大事にしていきたいこと

諫早自然の家は「青少年教育施設」です。ご利用に当たっては、皆様の研修目的を達成するために柔軟に対応させていただきますが、皆様におかれましても、次のことにご理解、ご協力くださるようお願いいたします。

### ① 諫早自然の家のルールをお守りください

朝のつどい・夕べのつどいへの参加、起床・消灯時刻の遵守、使用した宿泊室や研修室の清掃・整頓等をお願いします。

○つどいを通じて、団体どうしの交流・交歓を図るのも、青少年教育施設の役割の一つであり、社会性の育成につながります。活動中でも、中断が可能であれば、ご参加ください。

○なお、食事や入浴などは、標準生活時間に沿った活動を行っている団体を優先させていただきます。

### ② 団体どうし互いに譲り合ってください

一日の利用団体が多いときや雨天のときは、希望する活動場所や活動時間が重複することがあります。そうした際には、諫早自然の家から当該団体の引率責任者（プログラムのご担当者）にご連絡し、活動場所や活動時間を調整させていただきます。

調整期間をしっかりと取るためにも、期限までに利用申込書のご提出をお願いします。

○プレイホールは利用の希望がとても多いです。ご利用希望が重複する場合は、半面ずつにする、時間を半分ずつにする、利用できる日を交互にするなどの調整をさせていただきますので、ご協力ください。

### ③ 思いやりのリレー（使った場所の清掃・整頓、節電・節水）にご協力ください

こうしたことは生活体験の一つであり、こうしたことによって社会性（公共心）が育まれます。ロビーやトイレなどの清掃は業者を入れています。宿泊室や研修室は利用団体の皆様をお願いしています。次の方が気持ちよく使えるように、清掃をしっかりとお願いします。

## 「思いやりのリレー」

次に利用する団体・利用者が気持ちよく施設を使えるよう  
自分たちが使用した場所をきれいな状態でバトンを渡す  
という考え方です。